

■ 平成24年度 福岡市高速鉄道事業会計決算の概要

1. 決算

収益的収支	金額
収入	28,633 百万円
支出	27,984 百万円
差引	649 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	596 百万円

平成23年度末累積損益 △ 139,786百万円
 平成24年度損益 596百万円
 平成24年度末累積損益 △ 139,190百万円

資本的収支	金額
収入	23,524 百万円
支出	33,541 百万円
差引	△ 10,017 百万円

減価償却費等の非現金支出	9,484 百万円
+ 25年度への繰越工事資金	△ 1 百万円
+ 23年度からの繰越工事資金	48 百万円
+ 収益的収支の黒字額	649 百万円
損益勘定留保資金	10,180 百万円

補填

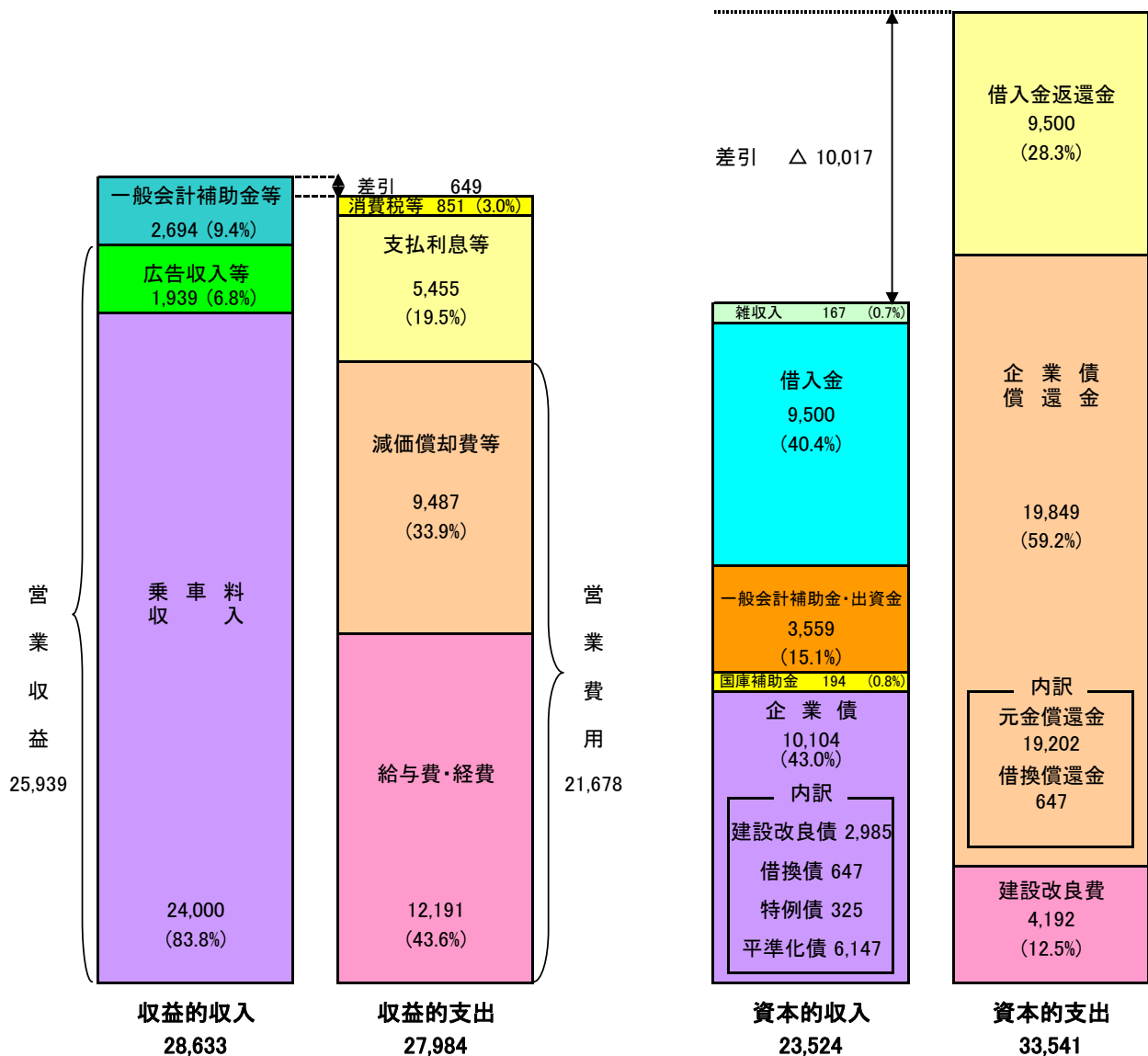
平成24年度末累積資金過不足額 △ 29,317 百万円

収益的収支

(単位: 百万円)

資本的収支

(単位: 百万円)



2. 業務量(年間又は年度末)

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線)	姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線)	中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線)	橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計		29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,636,830 キロメートル

(4) 年間輸送人員 137,245,615人

(5) 一日平均輸送人員 376,015人

○内訳

空港・箱崎線(a) [乗継ぎ分含む]	324,021 人
七隈線(b) [乗継ぎ分含む]	68,183 人
乗継ぎ分(c)	16,189 人
全線計(a)+(b)-(c)	376,015 人

3. 主要な建設改良事業

事業費 4,192,322千円

区 分		事業概要
ア	七隈線延伸事業 事業期間: H24~H32 304,006千円	七隈線延伸について、早期着工に向け、調査や設計を行うとともに、鉄道事業許可、工事施行認可や都市計画決定等の必要な手続きを進めた。
イ	営業線改良事業 H23 3,132,087千円 3,888,316千円	
主 な 内 容	ICカード全国相互利用に係る改良工事 事業期間 H23~24 482,876千円	利便性向上と公共交通機関全体の利用促進を図るため、地下鉄ICカード「はやかけん」の全国主要交通事業者との相互利用を、平成25年3月に開始した。
	九大病院前地下通路整備工事 事業期間 H22~24 369,360千円	バリアフリー化や安全・安心のまちづくりを推進するため、馬出九大病院前駅から九州大学病院東門までの公共地下通路を整備し、平成25年3月供用開始した。
	ATC等改良工事 事業期間 H18~ 515,532千円	地下鉄の安全運行を確保するため、経年劣化したATC(自動列車制御装置)等の列車制御装置の改良を年次計画により実施した。(中洲川端駅、1000N系・2000系車両)
	列車案内システム等改良工事 事業期間 H24~26 166,857千円	駅ホーム及び改札口の列車案内設備について、行先表示や乗換情報を充実させるとともに、経年劣化した運転システムの改良を実施する。(空港線、箱崎線)
	駅照明のLED化改良工事 事業期間 H24~ 119,943千円	駅施設の省エネルギー化を図るため、ホーム、コンコース照明等のLED化を推進した。(唐人町、天神駅)
	駅トイレ改良工事 事業期間 H18~ 36,792千円	サービスの向上やバリアフリー化の推進を図るため、経年劣化した駅トイレの改良を年次計画により実施した。(室見駅)
	券売機の4カ国語化改良工事 39,690千円	ユニバーサル都市・福岡の実現に向け、券売機を、2カ国語(日本語、英語)対応から4カ国語(日本語、英語、中国語、韓国語)対応に拡大した。(全駅)